

さいたま市民大会 お疲れ様。

5月31日、さいたま市民大会が開催されました。北浦和道院からもほとんどの拳士が出場し、日頃の練習成果を発表しました。少林寺拳法は、決して、大会での入賞を目指すためにやっているのではなく、その本質は、愛と慈悲心にうらうちされた自信と行動力を身に付けた確かな自己の確立と、半ばは自己の幸せを、半ばは他人の幸せを考えられる「自他共楽」の理想郷をめざす人づくりにあるのですから、大会の結果など、気にしない・・・とはいうものの、やはり、大会に出る以上は、入賞を目指したいと思うのが、人情というものでしょう。

今大会、念願の入賞を果たした組もあります。入賞しても、その順位に満足しない人もいます。残念ながら入賞できなかった組もあります。結果はどうあれ、大切なのは、自分にとってこの大会はどうであったかということ、考えられるかということです。日頃の練習も精一杯やったし、演武の練習もしっかりやった。その上での結果だから満足、という人もいれば、練習がたりなかったな、少し力を抜いていたなという人もいるでしょう。結果より、自分が、どう練習に取り組んできたかという「過程」こそ、大切なのです。そしてその成果としての大会での結果を、自分がどう受け取るかと言うことです。

北浦和道院は、基本的には、大会の練習ということにあまり時間をかけない道院です。正しい基本がしっかり身に付いていれば、演武は、その基本の組み合わせに過ぎないので、特別な練習はする必要はないということです。とはいえ、演武の順番を覚えるために多少の練習はします。しかし、他道院に比べると少ないのかもしれませんが。私も、現役で大会に出ていた頃、一緒に組んでいた一瀬先生と、練習をするのは本当に何度かでした。それでも全国大会に出ることができました。それは、やはり、日頃から基本練習をしっかりやっていたからだと思うのです。これは小坂先生のスタンスでした。この小坂先生のスタンスは、その師匠である中野益臣先生のスタンスでもあったようです。中野先生は、教範(有段者になると手にすることができる、少林寺拳法のバイブルです)の写真にもたくさん登場する少林寺拳法の第一人者です。今は、現役を退いていますが、私も若いころ何度か指導していただいたことがあります。基本練習で、へろへろになったのを覚えています。

こんな話が残っています。ある道院の拳士が、大会前に、演武の指導をしてもらおうと、中野先生の道場を訪れたそうです。ところが、結局、基本練習をみっちりやられ、とうとう演武の指導は一つも無かったとか・・・。

どんな道でも、大切なのは“基本”であり、その道に迷った時に帰るのは、やはり“基本”なのです。

大会結果

一般三段以上の部	敢闘賞 第3位
一般二段の部	敢闘賞 第3位
親子の部	敢闘賞 第3位
中学生級拳士の部	最優秀賞第1位
同	敢闘賞 第3位

その他、埼玉大学の学生も多数入賞しました。おめでとう！

連絡事項



1 県大会について

(1) 集合時間 6月7日(日) 午前 8時30分

終了予定は、午後5時くらいです。

(2) 集合場所 県立武道館(上尾) 駐車場側の外階段下付近

(3) 持ち物

道着 帯 袖章 弁当

飲み物(拳士会より、ペットボトルの飲み物を用意しますので、その他に必要な方)

(4) その他

- 別紙の出場拳士および応援の方への【おねがい】の事項をよくお読み下さい。
- 当日、移動手段がない方、乗り合わせ等、連絡を取り合ってください。
- 当日、何かの都合で来られなくなった場合や、何か不明な事がありましたら、梶谷(090-9002-0195)までご連絡下さい。
- 大会に参加されない方も、ぜひ応援にかけつけて下さい。

2 夏の道院合宿について

毎年恒例の、夏の道院合宿について、ただいま場所など検討しています。詳しく決定しましたらまた連絡をします。日程のみ下記の予定でお願い致します。予算は、15000円程度を予定しています。基本的に全員参加でお願いしたいと思えます。都合の悪い方は、お申し出下さい。

○ 日程 2009年 8月21日(金)～23日(日)

3 練習場所の変更について

6月19日(金)の練習場所が、常盤小学校の行事で、体育館が使用できませんので、下記のように変更になります。ご確認下さい。

6月19日(金)		練習場所		さいたま市 大戸公民館	
三井 田村	源 井下天	幼8年	賞賜杯	幼5年	賞賜杯
秋野 川原	朝一 津川吉	幼8年	賞賜杯	幼6年	賞賜杯
新山 村上	志野 村上	幼8年	賞賜杯	幼7年	賞賜杯
大藤 谷藤	長瀬 本藤	幼1年	賞賜杯	幼8年	賞賜杯
藤原 藤原	西村 西村	幼8年	賞賜杯	幼9年	賞賜杯